



岡山大学記者クラブ 御中

令和5年2月16日

岡山大学

岡山大学病院に「お口の健康管理センター」を開設

◆発表のポイント

- ・岡山大学病院は、医科・歯科診療科横断組織からなる「お口の健康管理センター」を2023年3月1日に開設します。
- ・同センターの2つの柱は、歯科健診（歯科ドック）を通じた健康増進とバイオバンク登録による研究推進です。
- ・同センターでは医科・歯科連携により、国内外から広く患者さんを受け入れます。

岡山大学病院は、医科・歯科診療科横断組織からなる「お口の健康管理センター」を2023年3月1日に開設します。お口の健康管理センターの役割には2つの柱があります。それは、健康増進と研究推進です。まず、健康増進の柱として、歯科健診（歯科ドック）を行います。むし歯、歯周病、がん、粘膜の疾患、機能不全などを引き起こす因子の各種検査を行うことで、健康増進に加えて疾病の早期発見・早期治療に貢献します。次に、研究推進の柱として、バイオバンク登録を行います。研究協力をいただいた方のデータや検査結果を教育・研究に応用し、人材の育成および新規診断機器・予防医療の開発にも貢献します。

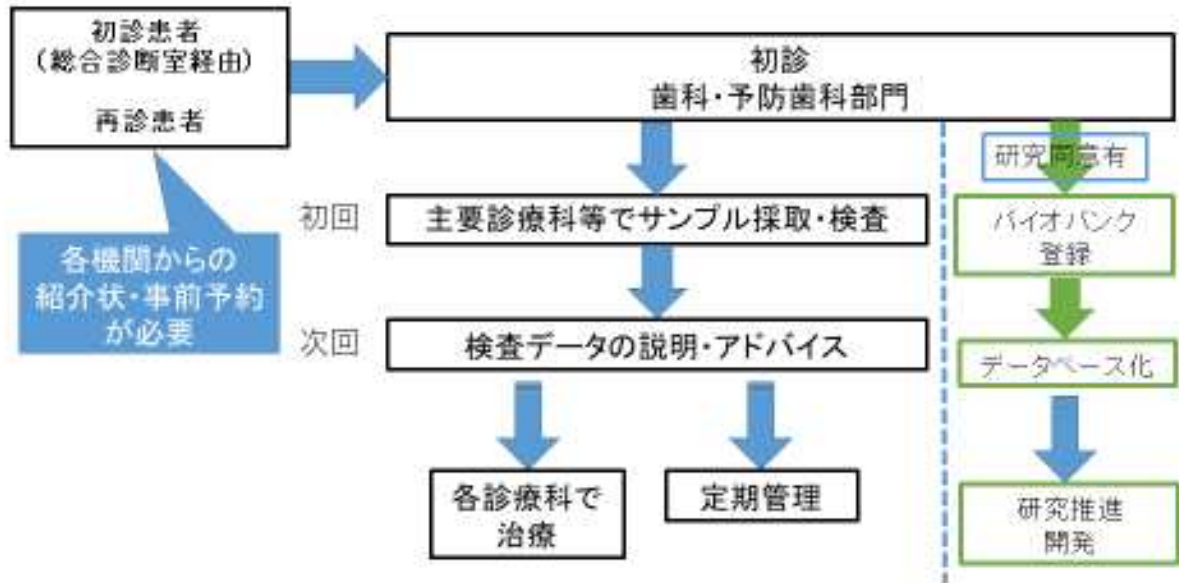
お口の健康管理センターでは医科・歯科連携により、お口の健康管理・健康増進に加えて、研究推進にも力を入れながら、国内外から広く患者さんを受け入れます。

岡山大学病院「お口の健康管理センター」は、歯科予防歯科部門、歯科放射線科部門、歯科総合診断室、ゲノム医療総合推進センター、バイオバンクを主要診療科等として、その他すべての医科・歯科の協力診療科により構成されます。超高齢社会を迎えた我が国では、健康寿命の延伸が重要な課題であり、健康寿命の延伸には長期的な口腔の健康管理が重要となってきます。従来の歯科疾患の早期発見および早期治療だけでなく、健康状態を確認して、健康の維持・増進を図るための歯科健診（歯科ドック）の拡充が歯科においても必要とされてきています。お口の健康管理センターを設置することにより、総合的な健康管理体制を必要とする患者さんにわかりやすい窓口を提供し、患者さんを中心に様々な診療科・診療部署が関わるチーム医療として対応することが可能になると期待されます。地域の歯科医療機関とも密接に連携し、広く国内外から患者さんを受け入れます。

お口の健康管理センターでは、各種の検査を通じて得られる様々なレベルの口腔健康状態に応じた対処法を提案します。お口の中の検査（むし歯・歯ぐき・がんなどの検査）に加えて、画像検査、口腔機能検査、唾液検査、細菌検査、抗体検査、遺伝子検査、口臭検査などをもとに、現在の口腔内の健康レベルと将来に向けたリスクの強さを判定し、それぞれの状態に応じた口腔管理方法を指導します。必要に応じて、各歯科診療科・診療部門に紹介します（図）。さらに、希望される方には、定期的に予防歯科的な処置も行います。



お口の健康管理センター 患者さんの流れ



【図. お口の健康管理センターにおける患者さんの流れ】

お口の健康管理センターには、もう一つの役割である研究推進の側面があります。研究同意のあった患者さんのデータが、バイオバンクを通じてデータベース化することで、大学・公的研究機関における基礎研究や臨床研究での利用および製品開発に貢献するための産学連携を推進しやすいことが期待できます。歯科ドックを受けられた患者さん自身の健康増進だけでなく、他の人の健康にも役立てることが期待されます。また、人材の育成および新たな診断方法、診断機器、予防医療の開発を目指します。

岡山大学は SDGs 推進研究大学として注目されています。同センターは、そのなかの目標 3（すべての人に健康と福祉を）に寄与できる組織となります。

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（歯）予防歯科学 教授
岡山大学病院 歯科・予防歯科部門 部門長
森田 学
（電話番号）086-235-6808 （FAX）086-235-6714

